

## はじめに

関東農政局管内1都9県は、首都圏という我が国人口の4割の人々が住む巨大な消費地を擁しており、地域特性を活かしながら消費者ニーズに対応した多様な農業生産が展開されています。また、農業就業人口及び農業産出額では全国の約4分の1を占め、一大食料供給基地を形成しています。

こうした管内の特性を踏まえ、関東農政局では、平成17年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」に基づき、消費者の視点に立った施策の強化、農業者や地域の主体性と創意工夫の発揮の促進、環境保全を重視した施策の展開、新たな動きを踏まえた「攻めの農政」の展開等に重点をおきながら、農政改革を進めているところです。

この農政改革を実効あるものにしていくためには、管内の地方公共団体と連携し、農業者、農業団体、食品産業関係者、消費者等の関係者の皆様との対話を進め、政策の内容について理解を深めていただくとともに現場の実態を政策に反映していくことが重要と考えています。

本報告は、こうした関東地域における国民参加型の農政を推進するための情報提供の一環として、管内の食料・農業・農村の最近の動向とこれらをめぐる問題点等をできるだけ明らかにし、関係者の皆様がそれぞれの地域で食料・農業・農村にかかる各種施策への参画を進めていただく契機となるよう作成しました。

第1部の「特集編」では、「関東地域における地産地消のこ・れ・か・ら～食卓と地域の大地との関係づくりから広がるフロンティア～」と題して、地域特性を活かしながら消費者ニーズに対応して管内各地で取り組まれている地産地消をテーマとして取り上げました。その主な内容は、管内での地産地消をめぐる現状について記述するとともに、関東農政局で実施した「地産地消に関する意識・意向アンケート結果」について集計・分析しその概要を掲載しました。また、地産地消の取組事例の現地調査を行い、事例を通して地産地消の取組内容、課題と今後の展開方向等を取りまとめました。

第2部の「動向編」では、「食料・農業・農村基本計画」で示された施策の方向を念頭に置きつつ、①食料自給率の向上と食料の安定供給、②農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開、③農村の活性化、都市と農村の共生・対流の促進の3つの章立てで管内の動向を取りまとめました。このうち、管内における特徴的な動きをトピックスとして6つ取りあげ、「米粉食品の普及・推進の取組」、「飼料増産に向けた取組」、「農地・水・環境保全向上対策の推進」等を紹介しました。

本報告が関係者の方々に広く活用され、今後の農業、農村や地域の発展方策を考える一助としていただくことができましたら幸いです。

最後になりましたが、本報告の取りまとめに際しまして、ご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。

平成21年1月

関東農政局長 皆川 芳嗣

# 目 次

## 第1部（特集編）「関東地域における地産地消のこ・れ・か・ら」

～食卓と地域の大地との関係づくりから広がるフロンティア～

はじめに	3
I 地産地消の意義・効果	4
1 地産地消の位置付け	4
2 地産地消の意義・期待される効果	5
II 地産地消に関する政策	7
1 地産地消に関する国の取組	7
（1）農林水産省における取組	7
（2）文部科学省における取組	8
2 地産地消に関する地方公共団体の取組	9
III 地産地消の現状と動向	10
1 地産地消をめぐる現状（事例）	10
（1）－1 農産物直売所（都市地域）における地場農産物の販売	11
（1）－2 農産物直売所（中山間地域）における地場農産物の販売	16
（2）学校給食における地場農産物の利用	21
（3）病院における地場農産物の利用	26
（4）レストランにおける地場農産物の利用	31
（5）加工業者等の連携による地産地消の取組	35
2 消費者、生産者から見た地産地消（アンケート結果）	41
IV 地産地消の課題と対応方向	47
1 農産物直売所の安定供給・品質向上に向けた生産体制の整備	47
（1）農産物直売所における農産物の安定的な周年供給	47
（2）農産物直売所における消費者ニーズにこたえた農産物の販売	47
（3）消費者とのコミュニケーションを通じた農産物の品質向上	49
2 農産物直売所における販売改善	49

3	学校給食・福祉厚生施設等への供給	53
4	地場農産物の安定供給 (外食・中食事業、食品加工業、観光関連施設)	55
5	市場流通における地産地消の取組	56
6	情報提供・コミュニケーション・交流活動の強化	57
	(1) 生産履歴、レシピ等の多様な情報提供による地産地消の推進	57
	(2) 地域の交流活動を通じた地産地消の推進	58
	(3) 優良事例を活用した地産地消の取組の推進	58
7	農産物直売所発の地球環境問題への対応	59
	(1) 地産地消と地球環境問題への対応との関係	59
	(2) 農産物直売所における容器包装削減の取組	60
V	むすび	61

## 第2部（動向編） 関東食料・農業・農村の動向

	管内における特徴的な動き（トピックス）	65
1	米粉食品の普及・推進の取組	65
2	業者間取引への食品表示の義務付けの周知・啓発	66
3	耕作放棄地解消に向けた取組	67
4	農林水産物・食品の輸出促進に向けた取組	68
5	飼料増産に向けた取組	70
6	農地・水・環境保全向上対策の推進	72
I	食料自給率の向上と食料の安定供給	73
1	食料自給率の向上に向けた管内の取組	73
	(1) 食料自給率をめぐる状況と国の対応	73
	① 食料自給率をめぐる状況	73
	② 食料自給率向上に向けた全国段階の取組	74
	(2) 食料自給率の向上に向けた関東農政局の取組	76
	(3) 管内都県の農業振興ビジョン等における食料自給率向上に向けた取組	77

(4) 米消費拡大の取組	81
① 米飯学校給食推進の取組	81
② 米粉食品の普及・推進の取組	83
<b>2 安全な食料の安定供給と消費者の信頼確保</b>	<b>87</b>
(1) 消費・安全行政の推進	87
(2) リスク管理、リスクコミュニケーションの推進	87
① 生産資材の適正な使用・管理の推進	87
② 農作物のリスク管理等を推進するための調査の実施	87
③ 農薬の適正使用・管理の推進	88
④ GAP手法の導入推進	89
⑤ リスクコミュニケーション等の推進	90
(3) 消費者の信頼の確保	91
① トレーサビリティの導入の促進	91
② 高病原性鳥インフルエンザ発生時への対応	91
(4) 食品表示の適正化	92
① 生鮮食品等の表示調査の実施	92
② 有機農産物、特別栽培農産物、 「無農薬」等の表示が付された農産物の表示調査	93
③ 立入検査、任意調査等	93
④ 食品表示地域フォーラムの開催	93
<b>3 日本型食生活の実現に向けた食育の推進</b>	<b>94</b>
(1) 食育月間等の取組	94
(2) 農業体験、調理体験等の取組	95
(3) 「食生活指針」や「食事バランスガイド」の普及・活用の促進の取組	96
(4) 食育推進ネットワークの活動を進める取組	96
<b>4 食品産業等の動向と競争力の強化に向けた取組</b>	<b>99</b>
(1) 食品産業・卸売市場の動向	99
① 食品産業の概況	99
② 業種別動向	100
③ 卸売市場の概要	104

(2) 食品産業・卸売市場流通の課題と行政の取組	105
① 食品産業の振興	105
② 食品産業における環境対策の推進	108
③ 卸売市場流通の課題と取組方向	110

## II 農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開

### 1 関東農業の全国に占める位置と農業生産等の動向

(1) 関東農業の全国に占める位置	113
① 主要農業指標と全国におけるシェア	113
② 農業産出額の全国シェアと順位	114
(2) 農業生産の動向	115
① 部門別農業生産の推移	115
② 各都県の主要農業部門割合	116

### 2 農業の構造改革の加速化に向けた取組

(1) 担い手の確保・育成	117
① 認定農業者の現状と課題	117
② 農業経営の法人化の現状と課題	121
③ 農業経営の高度化に対する支援（経営構造対策等の推進）	125
④ 新規就農の現状と課題	127
⑤ 農村における女性の社会参画の状況	131
⑥ 農村における高齢者の現状と課題	136
⑦ 農協組織の現状と活動状況	139
⑧ 農業制度金融の動向	142
(2) 農政改革の推進に向けた取組	145
① 水田経営所得安定対策（旧品目横断的経営安定対策から改称） の取組	145
② 米政策改革の着実な推進に向けた取組	147
(3) 優良農地の確保と農地の有効利用の促進	151
① 農業振興地域の現状	151
② 耕地の利用状況	152
③ 耕作放棄地の現状と解消に向けた取組	153

④ 農地流動化の現状と課題、今後の方向	157
⑤ 農地転用の現状	162
(4) 鳥獣被害対策の推進	164
<b>3 攻めの視点に立った多様な取組と農業の持続的な発展</b>	<b>170</b>
(1) 農林水産物・食品輸出の一層の促進	170
① 農林水産物・食品輸出をめぐる現状	170
② 農林水産物等の輸出に向けた取組の概要	171
③ 輸出における物流改善の取組	177
④ 管内における輸出取組事例	178
(2) バイオマス利活用の推進	182
① バイオマス利活用の意義と戦略	182
② 管内バイオマス利活用の現状	183
③ バイオマス連絡協議会の取組	192
④ 普及・啓発に向けた取組	192
(3) 付加価値の向上や知的財産の創造・保護・活用の取組	193
① 新たな技術の開発・普及状況	193
② 地域ブランド化に向けた取組	203
(4) 環境保全型農業の推進	205
① 環境保全型農業の推進	205
② 畜産環境問題の動向	210
<b>4 作物別にみた生産・流通の実態</b>	<b>211</b>
(1) 土地利用型作物	211
① 米（生産、流通、価格の動向）	211
② 麦（生産、流通、価格の動向）	217
③ 豆類	220
(2) 園芸作物	223
① 野菜	223
② 果樹	231
③ 花き	239

(3) 特産農作物	244
① 茶	244
② 養蚕	245
③ こんにゃくいも	245
(4) 畜産・飼料作物	247
① 生産動向	247
② 今後の課題	254

<b>5 平成19年度の気象等の経過と農業生産への影響</b>	257
(1) 気象経過	257
(2) 被害状況	258
(3) 農地・農業用施設の災害の状況	260

### Ⅲ 農村の活性化、都市と農村の共生・対流の促進

<b>1 農業農村整備の状況</b>	262
(1) 農業生産基盤整備の実施状況	262
① 農業農村整備事業の展開	262
② 国営事業の実施状況	266
③ 国営事業の再評価について	266
(2) 国営事業地区における農業経営体育成支援の取組	268
① 地区営農推進組織の活動支援	268
② 営農情報の提供	270
(3) 土地改良区（水土里ネット）の現状と新たな取組	271
① 土地改良区（水土里ネット）の現状と課題	271
② 21世紀土地改良区創造運動の展開	273
(4) 農業農村整備の新たな展開方向	275

<b>2 農村資源の保全・活用と農村環境の向上</b>	276
(1) 農村の多様な資源と農業の多面的機能	276
① 農業の多面的機能についての理解促進	276
② 農業・農村の多面的機能の維持増進に関する調査の実施	278

(2) 農村資源の維持管理・保全と地域環境保全活動	281
① 農業水利施設の長寿命化、効率的な更新整備、保全管理の促進	281
② 環境との調和に配慮した農業農村整備	285
③ 中山間地域の活性化に向けた取組	295
④ 中山間地域等直接支払制度の取組	296
⑤ 農業生産基盤と一体的な生活環境整備の推進	299
⑥ 豊かなむらづくり全国表彰事業の実施	302
(3) 農地・水・環境保全向上対策の取組	306
① 農地・水・環境保全向上対策の意義と内容	306
② 農地・水・環境保全向上対策の推進の取組	307
<b>3 農村の活性化に向けた取組</b>	<b>311</b>
(1) 食と農の連携強化	311
(2) 食品産業・農業等によるネットワークの形成	312
<b>4 都市と農村の共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化</b>	<b>314</b>
(1) 都市農業の振興	314
① 生産緑地の現状	314
② 都市農業への支援	315
(2) 都市と農山漁村の共生・対流の推進	316
① 都市と農山漁村の共生・対流の実現に向けた取組	316
② 都市と農山漁村の共生・対流関連事業	319
③ 市民農園等の開設状況	322
<b>(巻末参考)</b>	<b>323</b>
関東管内都県主要指標	325
平成19年度 農政局日誌（主な行事一覧）	326
平成19年度 関東管内の表彰事業での受賞一覧	338
平成19年度 刊行物・パンフレット一覧（主なもの）	349

## ～ 第2部（動向編）の構成 ～

### I 食料自給率の向上と食料の安定供給

#### 1 食料自給率の向上に向けた管内の取組

- (1) 食料自給率をめぐる状況と国の対応
- (2) 食料自給率の向上に向けた関東農政局の取組
- (3) 管内都県の農業振興ビジョン等における食料自給率向上に向けた取組
- (4) 米消費拡大の取組

トピックス1 米粉食品の普及・推進の取組

#### 2 安全な食料の安定供給と消費者の信頼確保

- (1) 消費・安全行政の推進
- (2) リスク管理、リスクコミュニケーションの推進
- (3) 消費者の信頼の確保
- (4) 食品表示の適正化

トピックス2 業者間取引への食品表示の義務付けの周知・啓発

#### 3 日本型食生活の実現に向けた食育の推進

- (1) 食育月間等の取組
- (2) 農業体験、調理体験等の取組
- (3) 「食生活指針」や「食事バランスガイド」の普及・活用の促進の取組
- (4) 食育推進ネットワークの活動を進める取組

#### 4 食品産業等の動向と競争力の強化に向けた取組

- (1) 食品産業・卸売市場の動向
- (2) 食品産業・卸売市場流通の課題と行政の取組

### II 農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開

#### 1 関東農業の全国に占める位置と農業生産等の動向

- (1) 関東農業の全国に占める位置
- (2) 農業生産の動向

#### 2 農業の構造改革の加速化に向けた取組

- (1) 担い手の確保・育成
- (2) 農政改革の推進に向けた取組
- (3) 優良農地の確保と農地の有効利用の促進

トピックス3 耕作放棄地解消に向けた取組

- (4) 鳥獣被害対策の推進

#### 3 攻めの視点に立った多様な取組と農業の持続的な発展

- (1) 農林水産物・食品輸出の一層の促進

トピックス4 農林水産物・食品の輸出促進に向けた取組

- (2) バイオマス利活用の推進

- (3) 付加価値の向上や知的財産の創造・保護・活用の取組

- (4) 環境保全型農業の推進

#### 4 作物別にみた生産・流通の実態

- (1) 土地利用型作物
- (2) 園芸作物
- (3) 特産農作物
- (4) 畜産・飼料作物

トピックス5 飼料増産に向けた取組

#### 5 平成19年度の気象等の経過と農業生産への影響

- (1) 気象経過
- (2) 被害状況
- (3) 農地・農業用施設等の災害の状況

### III 農村の活性化、都市と農村の共生・対流の促進

#### 1 農業農村整備の状況

- (1) 農業生産基盤整備の実施状況
- (2) 国営事業地区における農業経営体育成支援の取組
- (3) 土地改良区（水土里ネット）の現状と新たな取組
- (4) 農業農村整備の新たな展開方向

#### 2 農村資源の保全・活用と農村環境の向上

- (1) 農村の多様な資源と農業の多面的機能
- (2) 農村資源の維持管理・保全と地域環境保全活動
- (3) 農地・水・環境保全向上対策の取組

トピックス6 農地・水・環境保全向上対策の推進

#### 3 農村の活性化に向けた取組

- (1) 食と農の連携強化
- (2) 食品産業・農業等によるネットワークの形成

#### 4 都市と農村の共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化

- (1) 都市農業の振興
- (2) 都市と農山漁村の共生・対流の推進